鹿児島県立鹿児島中央高等学校　～自主 好学 敬愛～

進路指導室だより ２月号

発行：進路指導部企画運営係〈令和8年2月27日〉

最後まで粘り強く

国公立大学一般選抜入試の前期日程が終わり，３月８日からは中期日程，３月 12 日からは後期日程が実施されます。例年，後期試験の欠席率は高く，令和６年度 63.7％（国立 63.5％・公立 64.3％），令和５年度 63.2％（国立 62.7％・公立 64.8％），令和４年度 62.9％（国立 62.6％・公立 63.8％）という結果でした。欠席率が高い主な理由として，「前期日程で合格した受験生は受けない」「すでに私立大学への進学を決めた」「総合型選抜・学校推薦型選抜での合格が決まった」などが考えられています。つまり欠席者が多いため，見た目の倍率ほど実は厳しくなく，最後まで諦めず，粘り強く取り組み，受験した人が，合格を勝ち取ることになります。後期日程を出願した 61 期生のみなさん，最後まで自分を信じて挑戦し続けてください。

（参考）令和6年度国公立大学一般選抜入試後期日程受験状況

九州地区

大学名	対象者	出席者	欠席者	欠席率	前年度欠席率
九州大学	2,301	944	1,357	59	56.7
九州工業大学	1,151	464	687	59.7	60.1
福岡教育大学	956	264	692	72.4	68.6
佐賀大学	2,392	824	1,568	65.6	63.3
長崎大学	1,227	427	800	65.2	67.7
熊本大学	1,135	409	726	64	63.1
大分大学	1,755	519	1,236	70.4	71.3
宮崎大学	2,705	764	1,941	71.8	67.7
鹿児島大学	2,197	717	1,480	67.4	65.9
琉球大学	1,599	541	1,058	66.2	68.4
北九州市立大学	1,430	478	952	66.6	65.7
福岡県立大学	569	174	395	69.4	70.6
福岡女子大学	417	147	270	64.7	66.3
長崎県立大学	2,144	618	1,526	71.2	70.7
熊本県立大学	960	413	547	57	61.9
大分県立看護科学大学	105	26	79	75.2	66.9
宮崎県立看護大学	158	34	124	78.5	69.5
宮崎公立大学	555	191	364	65.6	85.1
沖縄県立看護大学	88	30	58	65.9	41.9
沖縄県立芸術大学	22	17	5	22.7	50
名桜大学	225	134	91	40.4	42.5

来年度以降の受験を見据えて

難関国公立・私立大学に多くの合格者を輩出している進学校では，この１～３月を「３年０学期」」と位置づけ，受験に向けた取組を始めています。鹿児島中央高校でも３月 18 日に，本校 25 期生であり，大手予備校「代々木ゼミナール」で大活躍されている西川彰一先生を講師にお迎えして，進路講演会を行います。１・２年生のみなさんは，先輩である西川先生から大学受験に関する最新情報や高い進路目標設定の必要性を吸収してほしいと思います。また，ある大手予備校の調査によると難関大学現役合格者の 71.6％が「高校２年生の３月までに受験勉強を開始した」と回答したそうです。２年（62 期）生のみならず１年（63 期）生のみなさんも，ぜひ，この３月から受験を強く意識した学習に取り組み，自分の新たな可能性を広げてください。

今年度の総復習をしよう

３月の高校入試に伴う自宅学習期間に，今年度の総復習をしてみませんか。この復習に徹底的に取り組むことで，来年度の大いなる飛躍に繋がると考えています。特に，力を入れてほしいのは「定期考査・実力考査」「全国模試」の復習です。「全国模試」は，受験時における自分の全国での位置や学力，そして得意・苦手の単元を確認できます。しかし，全国での位置や学力だけを強く意識してしまうと，大学受験本番では，上手くいかないことが多いです。それは，苦手分野を残してしまうことになるからです。そこで大切なのは，「どの単元ができなかったのか」と自己分析をきちんと行い，次の全国模試に繋げていくことです。大学入試の本番を意識した問題は，高３模試からです。それまでは，全国実力考査だと思って，間違った問題・解けなかった問題を徹底的に復習して，力を蓄えていくことが大切となってきます。また，「定期考査・実力考査」も同様です。問題を解き直すことで，自分の苦手分野がはっきりします。基礎が固まっていない時に，入試問題のような応用問題に取り組んでも良い成績を収めることはできません。大学入学共通テストで目標点を上回るためにも，教科書から出題している「定期考査・実力考査」も見直し，苦手分野の解消を図ってみてください。

令和９年度入試の変更点

今年度の国公立大学入試では，多くの変更点がありました。「進路室だより」の６月号や７月号でも，鹿児島大学や熊本大学を取り上げました。２年（62 期）生のみなさんは，いよいよ来年度入試に向けて本格的に取り組まなければならない時期です。志望する大学のウェブサイトで，「変更点がないか」を必ず確認しください。

【令和９年度入試で変更点がある主な大学・学部】

① 鹿児島大学（工・法文・教育・医・農・共同獣医）

② 九州大学（工・理）

③ 熊本大学（医・薬）

「努力は裏切らない～五輪に学ぶ不屈の精神」

２年２組　担任

今，イタリアで開催されている冬季オリンピックでは，日本の選手たちが様々な困難を乗り越えながら，自分の限界に挑んでいます。彼らの姿は，これから進路実現に向けて邁進していく君たちにも，とても大きな勇気を与えてくれます。例えばスノーボード男子ハーフパイプでは平野歩夢が，骨折などの大怪我で苦しみながらも五輪の舞台で見事な演技を見せてくれました。それまで積み重ねてきた練習が彼を支えてくれたのでしょう。フィギュアスケート男子では，鍵山優真と佐藤駿が，厳しいプレッシャーの中でも自分を信じ，銀・銅メダルを獲得しました。ショートプログラムでのミスやライバルとの差に直面しながらも，最後まであきらめずに滑り切った姿は，多くの人々に感動を与えました。世界中のトップアスリートたちは、その舞台を目指して、すでに 4 年間の準備を続けています。私たちが目にするのは、わずか数分の演技、数十秒の滑走、たった一度のジャンプ。しかしその一瞬の裏には、何千時間という地道な努力があります。オリンピックは、それまでの準備の差が可視化される場所ともいえるでしょう。共通テストまで３３４日（２月１６日現在）決して順風満帆の日々とは限りません。思うようにいかない日もあるかもしれません。地道に努力を積み重ねる力，転んだときに立ち上がる力がとても大事になってきます。

１．共通テストまでの時間の使い方

共通テストまで、仮に平日 3 時間、休日 5 時間学習した場合、積み重なる時間は 1000 時間以上になります。1000 時間。この数字は偶然ではなく、「意識して確保した時間」です。オリンピック選手が大会直前だけ頑張ることはありません。毎日の基礎練習、地味なフォーム修正、体幹トレーニング。観客のいない時間こそが、本番を支えます。受験勉強も同じです。英単語を毎日反復する，模試の復習を必ずやり切る，苦手分野をやり直す等々，華やかではありませんが、それは確実に力になります。

２．体調管理の大切さ

トップアスリートは、練習量と同じくらい体調管理を重視します。睡眠、栄養、コンディショニング。研究によれば、7～8 時間の睡眠をとる高校生は、6 時間未満の生徒よりも集中力と記憶保持率が高いというデータがあります。慢性的な睡眠不足は判断力を鈍らせ、パフォーマンスを下げます。「遅くまで起きている＝努力」ではありません。「明日も集中できる状態を保つ＝実力」です。体調管理は自己管理能力の表れです。そして自己管理こそ、受験における大きな武器になります。

３．文武両道

競技と学業を両立してきた選手もいます。前回大会で金メダルを獲得した Nathan Chen 選手は、競技生活と並行して名門の Yale University に進学しました。彼が強調しているのは、「特別な能力」よりも「切り替えの徹底」です。練習中は練習に集中。勉強は勉強に集中。時間を区切り、やるべきことを明確にする。それが両立の鍵だと言います。皆さんも同じです。必要なのは、計画と覚悟です。

４．あなたの 2026 年

この冬、ミラノとコルティナで世界の頂点が決まります。その瞬間のために、選手たちは今この冬も黙々と努力しています。

皆さんは，**共通テストまで残り３３４日（２月１６日現在）**をどう過ごしますか？